

いずもぎき

議会だより

第86号

2015
平成27年 1月21日



12月定例会

もくじ

・ 12月定例会	2
・ 予算審査特別委員会	3
・ 全員協議会・あの質問はどうなった	4
・ 一般質問（3人が町政をただす）	6
・ 行政視察報告	9
・ 町民の声	10

伝統の獅子舞

ここが聞きたい!!

予算審査特別委員会

平成26年度一般会計及び特別会計補正予算は予算審査特別委員会に付託し審査しました。委員会での主な質疑内容を掲載します。

建設課長 財源は県の地域経済活性化臨時交付金です。
施工内容は90mの井戸を掘り、ひまわりハウスの駐車場等に消雪パイプを敷設します。

三輪議員・諸橋議員
井戸工事の
財源と施工内容は

町営住宅用井戸
さく井工事
1350万円

保健福祉課長 出雲崎保育園は1人分、小木之城保育園は2人分、広域入所は3人分です。

何人分の追加か

保育実施委託料追加
796万円

高桑議員
減額の理由と今後の相談業務は
保健福祉課長 国の緊急雇用で2名の募集を行ったが、事務職1名しか応募がなかったためです。
今後の相談業務の募集については、新年度予算の中で検討したいと思います。

障害者相談支援事業委託料減
126万円減

総務課長 町内で局地的な豪雨に備えるもので、災害時の査定基準データとしても活用します。
財源は交付金等が無いために一般財源になります。

設置の目的と財源は

雨量計設置工事
783万円

12月定例会

(会期 12月8日~12日 5日間)

定例会では、平成26年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算、条例の一部改正など議案18件が提出され、慎重審議の結果、原案のとおり全会一致で可決、承認しました。

* 12月定例会で決まった補正予算 *

会計	補正額	補正後の予算額
一般会計(第4号)(専決)	403万円	33億9455万円
一般会計(第5号)	6698万円	34億6154万円
特別会計		
国民健康保険事業(第2号)	1819万円	6億3243万円
介護保険事業(第2号)	140万円	7億6766万円
簡易水道事業(第3号)	4万円	3億2774万円
農業集落排水事業(第1号)	6万円	1億3916万円
下水道事業(第1号)	9万円	1億8729万円

一般会計補正予算(第5号)

主な歳入

- 地方交付税 3058万円
- 国庫支出金 160万円
- 県支出金 835万円
- 前年度繰越金 2249万円

主な歳出

- 住民基本台帳システム改修委託料追加 230万円
- 更生医療給付費追加 456万円
- 保育実施委託料追加 796万円
- 天領の里オープンデッキ解体撤去工事 1796万円
- 町営住宅消雪用井戸さく井工事 1350万円
(大門ひまわりハウス)
- 雨量計設置工事(5カ所) 783万円
- 良寛記念館ホームページリニューアル委託料 180万円

◆指定管理者の指定

- 越後出雲崎天領の里
シダックスフードサービス株式会社
平成27年4月1日から5年間

12月定例会で可決した条例など

◆町職員の給与に関する条例の一部改正

国の人事院勧告によるもので、若年層(1~2級)の給与月額引上げ(平均0.1%)や一般職勤勉手当の引上げ(0.15カ月)、特別職期末手当の引上げ(0.15カ月)をするもの

◆町新定住支援金支給に関する条例制定

石井町住宅とひまわりハウスに入居する転入世帯が、町内で住宅を取得し、定住する場合に支援金を支給するもの

◆町営住宅条例の一部改正

ひまわりハウスの入・退去要件や家賃等を定めたもの

◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

平成27年4月から、国の「子ども子育て支援新制度」がスタートすることに伴う条例制定

全員協議会

第9回 10月21日開催

駅前の書店跡地は

◎地域振興拠点施設について

産業観光課長 駅前の書店跡地に、観光情報発信と地域の方々が交流できる拠点施設について計画した。

議員全員から 施設としての使用目的が曖昧なのではないか。情報発信、また、市民の交流施設として十分機能するように、外観、設備を含め、もっと多角的に検討すべき。

町長 駅前地区の活性化のためにも、これからのいろいろな仕掛けを考え、多目的な施設として意見を聞きながら検討していきたい。

子育て集合住宅は「ひまわりハウス」

◎子育て支援型町営集合住宅の入居募集検討状況について

建設課長 名称149件の提

り、指定管理者選定委員会で適当と認められた。

宮下・加藤・中川議員 天領の里の閉館時間や、レストランで地元産の食材を提供するなど、観光面を考えたもつとPR出来るように改善してほしい。

町長 これから出雲崎が売り込んでいくポイントは「食」にあると思っている。その意味で拠点を作りたいと考えている。営業時間もそうだが、地元産食材を使ってもらうように申し入れをしていく。

仙海議員 募集スケジュールはどうだったのか。

産業観光課長 実績を考え、一社指名指定とした。

富岡臨海学校が閉鎖

産業観光課長 災害や利用者数の減少により、閉鎖したいとの申し入れがあった。40年間に渡り交流を続けたこともあり、今後、災害協定を結ぶことになった。

三輪・中川議員 建物は町が引き受けるのか。
町長 建物の状況を確認して

案の中から「ひまわりハウス」に決定した。入居条件、家賃構成、支援策、広告宣伝についても、ほぼ骨子が決定している。

加藤議員 町外から転入してもらうためには就労支援が必要と考える。

宮下議員 将来的には町内定住のための支援策が必要では。

三輪議員 広告宣伝には、取材や報道等を利用して欲しい。

マイナンバー制度について

宮下議員 制度の導入に関しては、多額の経費が掛かるように聞いているが、当町での対応はどのようになっていくのか。

町民課長 予定では、平成27年10月から個人番号が付番され、28年1月から利用可能となる。今年度から、システム改修が始まり、一部予算計上をしていく。

今後、県からの具体的な通知があり次第、対応していく。

みないと分からないが、基本的に受けられないと思っている。

中学校の煙突からアスベスト

教育課長 暖房用煙突の点検調査結果を受け、現在使用中止とし、各教室に個別の暖房器具を設置している。早急に対応していく。

加藤議員 これを機会に部分的に使用できるセライトタイプのエアコン等は考えられないか。

町長 効果を考えて検討したい。

第11回 12月12日開催

役場の省エネを

中川議員 閉庁後の夜間、役場では遅くまで灯りがついているが、間引くかLEDにするなど、対応を考えるべきでは。

総務課長 産業医の環境診断により指導があったものだが、今後LEDに替えていくなど対応したい。

第10回 11月28日開催

消防分遣所の建設

総務課長 今年度、来年度の二カ年計画で建設を計画しており、予定では平成27年の秋に完成する。

消防積載車の不具合は

仙海・宮下・加藤議員 住宅火災の際、ポンプ車の不具合があった。日頃の訓練の成果で放水できたが、改善を望む。

総務課長 分団定期訓練で確認しており、体制を組んでいたが、取り扱いが異なる積載車もあるので、整備するとともに周知徹底を図り、具体的な訓練をしていきたい。

道の駅としての今後は

◎「越後出雲崎天領の里」指定管理について

産業観光課長 平成27年4月から5年間の指定管理者として「シダックスフードサービス株式会社」から応募があ

エコパーク第2期工事積み増し

◎エコパークいずもさぎの現在の処分場の継続使用について

町長 第3期工事の供用開始前に第2期処分場の残容量が不足となるため、新潟県から積み増しをしたとの申し出があった。想定されていたため、抑制策をとってきたが、現状は厳しい。十分な安全性は確保できると確認できたので、ご理解いただきたい。

事業団から28m積み増しの安全性等について説明があった。

宮下・三輪議員 想定以上の負荷がかかっても安全か。シートの破損は心配ないのか。

事業団 2割の安全率をみており、地盤改良等で十分な強度を確保する。

追跡

【第3回】
あの質問は
その後どうなった

議員が行なった質問の一部を取り上げ、その後の経過を追跡しました。

平成26年7月
第5回全員協議会

質問
①防火水槽や駐車禁止エリアでの駐車により、トラブルが発生したケースがある。表示や啓発の工夫をすべき。
②稲川トンネルは無灯火の車が多く危険。「点灯」の看板設置を。
総務課長・建設課長
表示はソフトなマーケティング等を検討する。公安委員会と連携して対応する。

結果

①防火水槽近くや駐車禁止エリアの表示を実施。
②稲川トンネルの両方の入口に「点灯」の立て看板を設置した。



交差点付近の表示

議会のメニュー

(主なもの)

(平成26年10月～12月)

- 10 議会モニター意見交換会
- 9 議会報特別委員会(議会だより第85号)
- 8 出まえ議会(川西公会堂)
- 7 出まえ議会(八手改善センター)
- 6 出まえ議会(海岸公民館)
- 5 議会報特別委員会(議会だより第85号)
- 4 出まえ議会(西越改善センター)
- 3 福島県北塩原村議会行政視察来町
- 2 行政視察(高知県大豊町、香川県宇多津町)
- 1 第9回全員協議会
- 11 町村議会議長・副議長・委員長・事務局長研修(新潟市)
- 10 総務文教常任委員会 学校視察
- 9 第58回町村議会議長会全国大会(東京都)
- 8 政務活動(柳津町議会)
- 7 第10回全員協議会
- 6 新年度予算編成に関する意見交換会
- 5 議会運営委員会
- 4 12月定例会招集日
- 3 予算審査特別委員会
- 2 定例会2日目(一般質問)
- 1 議会報特別委員会(議会だより第86号)
- 12 社会産業常任委員会
- 11 総務文教常任委員会
- 10 議会運営委員会
- 9 定例会最終日
- 8 第11回全員協議会
- 7 議会報特別委員会(議会だより86号)
- 6 議会だより臨時号発行
- 5 議会報特別委員会(議会だより86号)
- 4 25 22 17

町の活性化について 商品券の発行や同級会の支援は

町長

同級会支援は積極的に応援する



加藤 修三議員

質問 4月に消費税率5%から8%に引き上げと円安で物の価格も上がり、家計は増税を含む物価上昇で大変厳しくなっています。

町長 世論調査では、消費税8%になったことで家計への負担が重くなったと感じている人が約7割、加えて食料品、日用品など値上げラッシュで、日常生活は厳しさを増しています。消費が落ち込む節約志向では町に活力がなくなってしまう。

町の消費を活発にするために、町商品券の発行や灯油等の光熱費を支援し、町の活性化を図る考えはないか伺います。



円安・増税で値上がり

町長 商品券の発行について、商工会として問題を抱えており、理事会等での意見を聞いて結論を出したい。町として商工業者の方で積極的に対応したいことであれば、全面協力をします。

灯油支援は国の対応を見て

町長 灯油など燃料費支援は国として対応すると言っていますので選挙結果後対応するか見極めます。

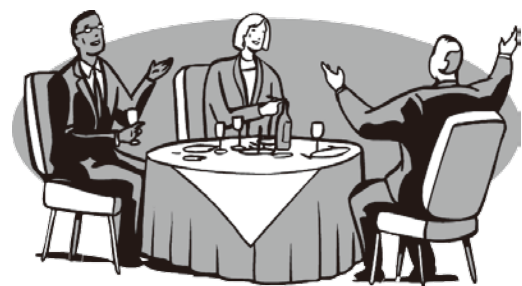
商品券の発行や灯油等の支援で町の消費を活発に

町工業者の意見の結果で

町内で行う同級会などの支援

積極的に応援する

町長 還暦、古希など人生の節目がある中、当町へふるさとを離れた方が戻ってこのよくな会を行うことについて、ぜひ、当町で開催するよう積極的に応援します。場合によっては新年度から予算計上させていただきます。



積極的に町内で同級会を

高齢者の見守り支援は

町長 地域全体で見守る



仙海 直樹議員

質問 当町での高齢者の見守り支援の状況は。

町長 民生児童委員の定期的な訪問や、給食宅配サービス時の声かけ、人感センサー等の付いた緊急通報システム装置の貸与があります。

テレビ電話の導入は

質問 光通信回線等を利用したテレビ電話による見守り支援の強化を行う考えはありませんか。

町長 多機能型の機器に頼るより地域全体で高齢者を見守ることが大切と考えます。

今後の対応は

質問 現在の緊急通報システム

町長 今後、柔軟に対応するように検討しますが、基本的には家族同士でしっかり連携を取っていただきたいと思っています。

協定の締結

質問 高齢者の小さな異変にも気付くために、宅配業者や電力会社・郵便局など見守り協定を締結する考えはありませんか。

町長 宅配業者や電力会社は町独自より県が主体となる方が望ましいと思います。町は新聞販売店等6業者と協定を結んでいます。また、郵便局は効果的で、平成20年まで協定を結んでいましたが、その後、法律の改正により協定は結ばなくなりました。

質問 放課後や週末に小学校の全児童を対象に余裕教室等を利用して、地域の方々の参画を得て学習支援やスポーツ・文化活動を行う放課後子ども教室を行う考えはありませんか。



クリスマス会の様子（放課後児童クラブ）

放課後子ども教室は

教育長 児童クラブと放課後子ども教室の一体化を検討

教育長 現在は児童クラブや出雲崎ツズ、スポーツチャレンジ教室等を実施しています。

平成27年4月からは、児童クラブの対象年齢を6年生まで拡大します。

質問 児童クラブの対象年齢が拡大されても、現在の制度では保護者等が家庭でみられる子どもたちは入ることができません。放課後子ども教室だと、全児童が対象になりますがいかがですか。

教育長 今後、児童クラブと放課後子ども教室を一体化して行う方向で検討します。

おたずねします
お答えします

一般質問

防災教育に学校支援地域本部の充実を図って

教育長 今後、関係機関で検討する



高桑 佳子議員

学校支援地域本部の充実が大切では

質問 東日本大震災「釜石の奇跡」と言われる釜石市の小中学生の生存率99・8%は、8年間におよび防災教育で子どもたちが身につけた対応力が想定外を乗り越えさせたと言います。「自らの命を主体的に守る姿勢を身につけさせる」という徹底した防災教育は、当町においても重要課題であると考えます。

学校支援地域本部は、学校を支援するため、地域の方々とボランティアとして派遣する組織で、地域に作られた「学校の応援団」です。今までの地域ボランティアの取り組みをさらに発展させて、地域コーディネーターを中心とした組織的なものとし、より効果的な学校支援を行うものです。

この活動を通じて、地域の

方々の生涯学習や生きがいづくりとなり、防災教育も知識や技術をお持ちの方に協力をいただくことが可能です。これから、より具体的に実践的な防災教育が求められると思います。どのようにつながりますか。

教育長 多発する自然災害のなかで、子どもたちが自らの命を守るための、主体的な意識と行動を根付かせるための防災教育は重要であると認識しています。県から示された「新潟県防災教育プログラム」を活用し、自校の防災教育計画に基づいて、年に3回の避難訓練をはじめとする、防災教育を行っています。

現在、ボランティアは、年間延べ500人の方から参加いただいておりますが、防災教育に当てるべき学校支援はななく、これからの提起される問題と考えます。

各団体の連携を密に

質問 学校支援地域本部事業のモデル校ではコーディネーターが常駐して、密に連携を図っているところもあり、当町でも充実させる必要があります。また、町内では

子どもたちのより良い成長と地域の活性化のために活動する団体があります。そういった団体が、互いの活動を報告し話し合う場が必要と考えますがいかがですか。

教育長 学校現場では、学校を支援していただく方と担任の打ち合わせは行っていますが、時間や場所等が十分でないのであれば、今後検討していきます。

また、各団体との連絡を密にすることで活性化を生むと考えますが、どのような形でできるか、学校や関係機関と協議いたします。



ボランティアによる読み聞かせ

女性消防団について

町長 現行の体制でやっていく

質問 新潟県内では30ある消防団のなかで、24の女性消防団が結成されています。当町では、女性の方々が消防団の活動を、よく知られていないのが現状ですが、今後をどのように考えていますか。

町長 育児、家事など家庭においては女性の負担は大きいのが現実です。女性として活躍していただく場は多いが、役割を考えると住み分けが必要だと思います。現状では、女性消防団は考えていません。

高知県 大豊町

おとよ

研修内容 高齢見守りネットワーク事業について

大豊町は四国の、ほぼ中央に位置し、人口は約4400人、面積は311・4km²で当町の約8倍と広く、9割が森林で、平坦地はほとんどなく、棚田、急傾斜地で稲作や林業が行われている。

急速な高齢化が進み高齢化率は54・5%（当町39・9%）で限界自治体といわれている。65歳以上の独居、2人暮らしで90%を占めており、65歳以上の独居世帯や、その他の条件を満たす世帯の、緊急連絡体制を整えている。

見守り体制

緊急時の連絡や相談、訪問など見守りを行う見守りネットワークを、通信会社、警備会社と契約している。

他にも家族、消防署への連絡機能付き固定電話やGPS機能が付いた緊急通報ボタン付き携帯電話、ミルクといわれる室内移動を感じて家族や登録者へメールで知らせる見守り専用携帯で対応している。



(加藤 修三)

相談、お伺いサービス

愛コンタクトサービスと言われ、孤独感や不安を抱える高齢者に対し、有線週に数回呼びかけて安否応答確認し、応答無きときは、近所のボランティアによる安否確認や、職員が自宅訪問するサービスを実施している。

宅配業者による通報協定

高齢者の買い物について、町商工会では、朝注文し夕方配達で運賃は町が一部負担している。宅配業者が、高齢者の異変に気付いた時は、役場へ通報する協定をして、大豊町の見守りネットワーク向上を図っている。

香川県 宇多津町

うたづ

研修内容 子育て施策の取り組み等について

香川県宇多津町は、人口約18700人、総面積は出雲崎町の約5分の1で東西2キロ、南北4キロの約8km²です。瀬戸内海に面し、二つの大きな市に挟まれたベッドタウンとして、右肩上がりに人口が増加してきました。年少人口と生産人口の比率は県内で最も高く、逆に高齢者比率は18・5%と最も低い町です。

約20年前からのマンション建設により、子育て世代の転入が増え、年間出生者数も230人前後であることから、子育て支援施策と教育には大変力を入れています。

充実した子育て支援施策

14の事業が実施されていますが、「地域活動支援センター」「ファミリースポーツセンター」「みんなのサロン」とも事業」など、特にソフト面での充実を感じました。

例えば、「つどいの広場事業」は公設公営で、様々な情報発信基地となっています。一日平均48組の利用があり、出張ひろばも開設されているとのことでした。

当町の「だっこちゃんクラブ」と同



(高桑 佳子)

様な地域活動支援事業のなかに「パトモクラブ」があり、普段参加できにくいお父さんと一緒に遊び体験を行っています。「みんなのサロン事業」は誰でも気軽に集い交流する場として開始されていて、子どもの数以上に高齢者の参加が多く、季節の行事、バランス体操、わらべ歌や抹茶たて体験などの活動が行われています。「ブックスタート事業」では、3カ月健診の時に絵本2冊をプレゼントし、ボランティアによる読み聞かせが実施されています。また、当町でも検討されている「放課後子ども教室」では宿題支援が行われていました。

今後、単に子どもの数だけで比較せずに、今回の視察を参考に少人数なりのサロンのあり方を検討する必要を感じました。

子供達との野球

川西
石井康朗



Play ball

私は一年間、学童野球チームの出雲崎スカイヤーズの運営に携わってまいりました。

新チーム結成時に目標は「全国大会」と冗談で言っていました。それが、長岡大会、中越大会でも勝ち抜き、あれよあれよと県大会にまで進みました。ここまで来ると欲が出て「本当に全国に行けるかも？」しかし、現実はそのんなに甘くはありませんでした。残念ながら県大会で敗退しました。

選手達にとって大きな舞台で野球が出来た事は、お金では買えない大きな経験になったと思います。選手達の野球の技術も上達しましたが、それ以上に野球を通じて集団活動の中で人として成長したと思います。

これまでチーム運営にご協力ご理解をして頂いた関係者及び一緒にチームを支えてくれたチームスタッフ、保護者の皆様、何より野球をしてくれた子供達に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

最後に、学童野球って楽しいですよー野球やりませんか？出雲崎スカイヤーズは随時クラブ員を募集しております。お気軽にどうぞ。お待ちしております。



表紙の小話



1月2日、獅子舞の取材に出かけました。出雲崎の正月の伝統行事にたくさんカメラマンの姿がありました。江戸時代、天領として賑わった元禄年間より三百年以上続くといわれています。

海岸地区の全町内から、12の獅子舞が、1月2日と3日、住吉町の飴獅子は11日に行われました。これほどの獅子舞が各家々を回るの、おそらく全国一ではないでしょうか。

町内ごとに子どもから大人まで、太鼓をたたく人、獅子を舞う人、賽銭を集める人と協力して行事を進めている姿を見て、「地域の絆」の強さを感じました。地域を一つにする伝統行事獅子舞、これからも大切に守ってほしいですね。

(三輪 正)

編集後記

紙面づくりについて委員は常に「議会活動の内容をいかに町民の方に知ってもらおう」ということを考えながら、作業を進めておりますが、現実には理想に遠い状況です。

10月に香川県宇多津町議会視察の際、配布された「うたづ議会だより」を拝見して、私は大きな衝撃を受けました。一番に感じたことは、読みやすい紙面だということ、またコンパクトに記事がまとめられていることです。

「いずもぎ議会だより」も常に改善を進めておりますが、先進地の議会だよりに学んで皆さんに親しんでいただける紙面づくりに努力してまいります。

新年を迎えられた町民の皆さまには、益々のご多幸とご健康でありますよう心からご祈念申し上げます。(三輪 正)

- 議会報特別委員会
- 委員長 三輪 正
- 副委員長 仙海直樹
- 委員 加藤修三
- 委員 高桑佳子